

2023 年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏 名
経営学部 地域ビジネス学科	教授	寺島 雅隆
最終学歴	学 位	専門分野
中京大学大学院 経営学研究科 博士後期課程修了	博士	経営学

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

【理念】

学生に真面目に接し、信頼する。

【目標】

産業社会に有用な人材育成に寄与すると共に、学生の学力向上と健やかな学生生活を支援する。

【方針】

社会科学的知見に基づいて、ドクマ（信念）を極力排除する。

【計画（方法）】

- ・個々の学生のニーズを把握し、より勉学意欲を向上させる。
- ・ゼミナール学生に「オンリーワン」の獲得を促す。
- ・教員と学生間、および学生間の信頼をより培う授業運営を心掛ける。

【担当科目】

（前期）

アントレプレナーシップ論、イノベーション論、ビジネスモデル構築論、基礎演習Ⅰ、
専門演習Ⅰ、専門演習Ⅲ

（後期）

基礎演習Ⅱ、新規事業論、専門演習Ⅱ、専門演習Ⅳ、組織行動論、地域企業フィールド調査

○教育方法の実践

なし

○作成した教科書・教材

なし

○自己評価

学生指導においては1年生の基礎演習において、前期2名の退学者を出した。理由は、本学とのミスマッチが主要因と考えられるが、本学への理解を促す教育活動を行っていきたい。そして4年生の専門演習において、全員が希望する会社への内定が確定し、うち二人は上場企業であった。学歴フィルターを突破する学生を輩出し続けたい。また、授業評価においては、学内アンケートの結果から問題はないと推定されるが、より丁寧な指導を心掛けたい。

II 研究活動

○研究課題

障害者雇用、障害者起業。

○目標・計画

【目標】

障害者雇用と障害者起業の背景に焦点を絞り、計画的に著作をおこなう。

【計画】

今年度末に著書を出版する。

○2016年4月から2024年3月の研究実績（特許等含む）

（著書）

- ・寺島雅隆『救貧の正当性ーなぜ障害者を救うのかー』デザインエッグ社、2022年8月
- ・寺島雅隆『障害者の経営学-雇用から起業へ』三恵社、2022年3月（第2版）

（学術論文）

- ・寺島雅隆, 鄭南「日本残障者就業現状及相关社会政策支持研究」『社会政策研究』No. 19(02)、pp. 66-78、2020年2月（査読あり）

（学会発表）

- ・寺島雅隆「Disability Employment」城乡文化社会转型与东亚青年发展在线研讨会、吉林大学哲学社会学院、2022年8月
- ・寺島雅隆「ボーカロイドによる授業一言語障害者の試みー」日本ビジネス実務学会第36回全国大会、神戸大学、2017年6月

（特許）

なし

（その他）

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況（学内外）

なし

○所属学会

障害学会、日本中小企業学会、日本ベンチャー学会、経営哲学学会、日本経営学会

○自己評価

著作は出版できなかった。来年度、改めて研究計画を立てたい。

Ⅲ 大学運営

○目標・計画

【目標】

建学の精神に則り、真面目に業務にあたる。

【計画】

- ・与えられた職務を全うする。
- ・委員会に関連する業務を意識しておこなう。

○学内委員等

地域創造研究所運営委員会、保健・学生相談センター運営委員会、キャリア支援センター運営委員会

○自己評価

全ての委員会の会議に欠席なく参加できた。学校運営に対し、貢献しているとは言えないが、与えられた任務を達成できたのではないかと考えている。

IV 社会貢献

○目標・計画

【目標】

授業を通じて地域貢献活動を模索する。

【計画】

ゲストスピーカーの方々と関わり、学生と取り組めるプロジェクトを模索する。

○学会活動等

障害学会と日本中小企業学と日本経営学会に参加した。

○地域連携・社会貢献等

顧問を務める「子ども食堂サークル」において、愛知東邦大学内の「平和が丘保育園」に協力し支援を求めるご家庭のために食料および日用品を梱包した。活動したのは3日間で、11月18日（土）・12月16日（土）・1月13日（土）であった。

○自己評価

今回の「子ども食堂」は、こども家庭庁補助事業「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」を原資とした「保育園を起点とした食支援活動」であり、継続性がない。したがって、自力で継続可能な仕組みを考えていきたい。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学会交流、自己研鑽等）

月刊『視覚障害』No. 428 における対談記事「特集 視覚障害の起業について考える」2024年1月

VI 総括

教育活動と大学運営については平常運転であったが、研究活動において準備はするものの成果は出せなかった。再度、研究計画を立案し、真摯に取り組んでいきたい。

以 上